

令和8年度企画展・市民公募展

わたしの 入れものの

—— 思い出いっぱいのも物語



これは
だれかの
くらしの
かたち

いつも
もどる
ぼしょ

野田市郷土博物館・市民会館

2026 4.4 土 — 6.29 月

開館時間=9~17時 休館日=毎週火曜日(祝日は開館)*6月7日(日)~10日(水)は臨時休館 会場=野田市郷土博物館1階展示室 入館料=無料
〒278-0037 千葉県野田市野田 370-8 Tel. 04-7124-6851 Fax. 04-7124-6866 E-mail info@noda-muse.jp <https://noda-muse.jp>

わたしの 入れもの の物語

令和8年度企画展・市民公募展



市民公募展とは、学芸員がテーマを決め、それをもとに市民から資料を公募し、展示を行うものです。本企画展では、日常生活で使用している「入れもの」を募集し、それぞれの思い出やエピソードとともに紹介します。

本展では、箱や袋などの「入れもの」を単なる「容器」としてではなく、人と物との思い出を繋ぎ、また日々の暮らしを映すものとして位置づけます。「入れもの」は、物を入れる、しまう、守る、運ぶなど、実用的な役割を果たしていますが、日々の生活で使われていくなかで、持ち主の記憶や生活の一部となって溶け込んでいき、気づけば思い出や記憶そのものを包み込んでいる存在でもあるといえます。

今回ご応募いただいた、さまざまな「入れもの」とおして、一人ひとりの暮らしに密かに息づく文化や感性を感じていただければ幸いです。



ウイスキーボトル



半纏



こけしの小物入れ



ハンドバッグ



焼き物



お猪口



宝箱



紙芝居の舞台



行李

◆ 出品者によるギャラリートーク

出品者の方より、それぞれの「入れもの」にまつわるエピソードをお話いただきます。

日時 / 第1回:4月25日(土) 第2回:5月31日(日)
14時～14時40分

場所 / 野田市郷土博物館1階展示室

参加費 / 無料(当日直接会場へお越しください)

◆ 暮らしに生きるふろしき活用術

古くから私たちの生活に身近にあった風呂敷について、「入れもの」としてのさまざまな活用法をご紹介します。

日時 / 5月17日(日) 13時30分～15時

場所 / 野田市市民会館 松竹梅の間

講師 / 加藤真智子氏(ふろしき研究会 野田)

参加費 / 100円

定員 / 20名

持ち物 / 風呂敷(サイズ不問、バンダナ・スカーフでも可)

(要事前申込) 4月20日(月)より申込開始 ※先着順

◆ 折り紙で入れものづくり

折り紙でできる入れものをつくります。

日時 / 6月13日(土)

午前の部:10時～11時30分

午後の部:13時30分～15時

場所 / 野田市市民会館 松竹梅の間

講師 / 菅沼恵子氏(室礼サロンのたのしい和会員)

参加費 / 無料

定員 / 各回10名

持ち物 / 不要(好きな折り紙の持込可)

(要事前申込) 5月20日(水)より申込開始 ※先着順

野田市郷土博物館・市民会館

〒278-0037 千葉県野田市野田 370-8

Tel. 04-7124-6851 Fax. 04-7124-6866

E-mail info@noda-muse.jp

https://noda-muse.jp

野田市郷土博物館で
ドグウのミミーが待ってるよ!



●電車

東武野田線(東武アーバンパークライン)
『野田市駅』または『愛宕駅』下車 徒歩8分

●車

常磐自動車道『柏IC』から約20分
※駐車場あり(30台、無料。ただし近隣施設と共用。バスは駐車できません)

●まめバス

清水ルート、堤台ルート、中ルート、愛宕ルート、いずれも『上町』下車徒歩7分。
愛宕ルート、南循環ルート、いずれも『仲町』下車徒歩5分。

